



安全・安心に学校給食を 提供するための食材選定を

志政あやせ 金江 大志

●学校給食について

Q 食材の選定基準は。

A 青果と鶏肉は国内産、豚肉は県内産、冷凍食品は国内加工品を使用している。一部の食材では、放射性物質を測定し、国より厳しい基準で安全性の確保に努めている。

●地産地消の現状は。

A 本市は、平成28年度の市町村別地場産食材での利用率が、33市町村中、8番目であり、地産地消を推進している。

●子どもたちの希望をどう取り入れているか。

A 栄養教諭が学校訪問の際などに、具体的な希望を聞き、献立の参考にしている。年に15回、学校単位でリクエスト給食を実施するほか、小

●分団の出動件数に差があるが、出動基準の見直しは。

A 出動件数に差があることは認識しているが、初動体制の強化による延焼拡大の防止が重要と考えており、現段階で、見直しは考えていない。

●初動体制が強化され、火災の延焼防止のほか、現場での交通規制や広報活動に人員の配置が可能となり、効率的な活動が行えている。

A 先進自治体からは、健診時間内で実施できる人数が限られることやオペレーター配置などが課題と聞いており、導入効果を十分に検証し、判断していきたい。

●保護者への支援として子どもの問題行動を減少させることを目的とする、発達障がいの特化したペアレントトレーニングを実施しては。

A 発達障がいの特化した内容ではないが、もみの木園

●発達障がいの早期気づきと支援環境の充実について

Q 子どもの視線の動きを測定することにより、社会性の発達を評価することができ

A 「かおテレビ」を乳幼児健診などで導入しないか。

●先進自治体からは、健診時間内で実施できる人数が限られることやオペレーター配置などが課題と聞いており、導入効果を十分に検証し、判断していきたい。

A 発達障がいの正しい理解を促進する啓発としては、

A 広報あやせやホームページを活用し、発達障がいの啓発活動に取り組んでいく。

●相模原市は発達障がいのある方が生活のさまざまな場面で困ったことがある際、周囲に理解を求めることができ

A 本市も検討しないか。

A 県が導入した、外見では援助や配慮を必要とすることが分からない方のためのヘルプマークを本市も配布しているため、カードは作成しない。

●新東名高速道路と落合・吉岡のまちづくりの考え方について

Q かながわのみちづくり計画の中で、新東名高速道路は、落合・吉岡の土地区画整理区域内を通過する可能性が

A あるが、区画整理事業を見直す考えはないか。

A 新東名高速道路の計画は不透明である。仮に、通過するとしても区画整理区域内の一部分と想定されるため、事業計画を変更することで対応できると考えている。

●落合・吉岡土地区画整理組合設立準備会総会で、権利者から、区域内に産業廃棄物があり、処理費用は1反につき、8千円以上かかると

A 個人では処理費用が負担できないと思うがどうか。

A 個人の減歩などで賄いきれない場合は、組合で方向性を検討し役員会や必要により総会に諮ると考えている。



発達障がいに早期に気づく ため「かおテレビ」の導入を

公明党 内山 恵子

●保護者を対象に、ペアレントトレーニングなどを取り入れた子育て勉強会を、平成30年度に実施する予定である。

Q 発達障がいの正しい理解を促進する啓発としては、

A 広報あやせやホームページを活用し、発達障がいの啓発活動に取り組んでいく。

●相模原市は発達障がいのある方が生活のさまざまな場面で困ったことがある際、周囲に理解を求めることができ

A 本市も検討しないか。

●新東名高速道路と落合・吉岡のまちづくりの考え方について

Q かながわのみちづくり計画の中で、新東名高速道路は、落合・吉岡の土地区画整理区域内を通過する可能性が

A あるが、区画整理事業を見直す考えはないか。

A 新東名高速道路の計画は不透明である。仮に、通過するとしても区画整理区域内の一部分と想定されるため、事業計画を変更することで対応できると考えている。

●落合・吉岡土地区画整理組合設立準備会総会で、権利者から、区域内に産業廃棄物があり、処理費用は1反につき、8千円以上かかると

A 個人では処理費用が負担できないと思うがどうか。

A 個人の減歩などで賄いきれない場合は、組合で方向性を検討し役員会や必要により総会に諮ると考えている。

モータースポーツに焦点を あて市の魅力をPRしては

志政あやせ 齊藤 慶吾

●趣味を活用した魅力あるまちづくりについて

Q 本市は自動車関連企業が多く、全日本スーパーフォーミュラに出場する企業があるなど、自動車産業が魅力と考える。モータースポーツに焦点を当て、市のPRを行うことで、工業製品や技術力を周知できると思うがどうか。

A 現在、新分野を目指す市内企業の多くは、医療、航空への参入を希望しており、市民のモータースポーツに対する機運は高まっていないと認

●資源物盗難への対策はどうしているか。

A 通報があった場所は、大和警察署へ夜間パトロール強化を要請するとともに、リサイクルプラザ職員もパトロールをしている。自治会では、アルミ缶を入れる籠へのチェーン掛けや夜間の資源物排出中止を実施している。

●自治会の貴重な収入源となる資源物が盗難される相談を受けるが、市全体での、資源物盗難件数と量は。

A 平成30年3月から、12

A 回通報があり、延べ137カ所

A でアルミ缶の持ち去りがあった。量は不明である。



市の鳥「かわせみ」



7月15日、「市消防操法大会」が開催されました
＜オーエンス文化会館駐車場にて＞

公職選挙法による 禁止行為

◇議員の寄付禁止

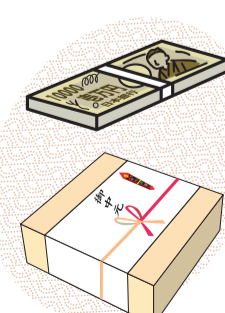
議員が市民に対し、お金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。

◇議員への寄付勧誘・要求の禁止

議員が市民に対し、お金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。

また、市民が議員に対し寄付を求めるとも禁止されています。

◇時候のあいさつ状などの禁止
議員は市民に対し、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞状、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれます）を出すことは禁止されています。



これらに違反すると罰せられます。
市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。